

提供日 2021/10/05
 タイトル セミ・オーダーメイド方式第1号の藤枝高田工業団地
 が完成！高い経済効果を期待！
 担当 企業局 地域整備課
 連絡先 企画営業班
 TEL 054-221-2172



セミ・オーダーメイド方式^(※)第1号の藤枝高田工業団地が完成！ ～操業による企業活動で年間100億円の経済効果を期待～

1 要旨

- 平成29年12月に藤枝市と企業局が基本協定を締結し、企業局が造成工事を進めてきた「藤枝高田工業団地」が完成し、本年9月30日に市に引渡しを行った。
 - 進出企業6社合計の直接投資計画額は140億円、雇用者数は500人超、工場建設等による経済波及効果は225億円、全社操業による「企業活動」効果は100億円/年が見込まれる。
 - 1haあたりに換算すると、企業局が直近で造成した「富士山麓フロンティアパーク 小山」を上回る、高い経済効果の創出が見込まれ、地域経済への大きな貢献が期待される。
- (※)進出企業決定前に事業化し、企業局が用地造成を行い、完成用地は市町に一括売却する方式。

2 経済波及効果

区分	経済波及効果	県税増収効果
工場建設等（含む企業局土地造成）	225億円	3.1億円
企業の操業	100億円/年	1.2億円

（藤枝市が進出企業に行ったアンケート結果から、静岡県産業連関表分析ソフトにより試算）

3 企業局による主な創意工夫の取組

- 早期引渡しに向けた取組
 - ・工区分割による先行造成や新たな分合筆手法の活用（「富士山麓フロンティアパーク 小山」に続き2例目）
 - ・国土交通省や法務局との調整により、国土調査法に基づく測量成果の認定手続を引渡し後に実施（企業局初）
- 上記の取組により、A工区は予定より約5ヶ月、B工区は予定より約3ヶ月の引渡し時期の前倒しを実現
- 環境保全に向けた取組
 - ・絶滅危惧種「カワバタモロコ」の生息環境保全のため、造成期間中、濁度浄化装置及びアルカリ中和装置により、雨水を浄化し河川に放流（企業局初）

4 概要

区分	内容
整備箇所・規模	藤枝市高田地区 約10.2ha 6区画 ふじのくにフロンティア推進区域：新東名藤枝岡部IC周辺推進区域
全体事業費	約31億円（事業期間：H29～R3）

5 進出企業（募集、審査、分譲決定は藤枝市が実施）

区画	面積(m ²)	企業名	本社	業種
A工区	1	エスエスケイフーズ株式会社	静岡市	食料品製造業
	2	トヨタモビリティパーツ株式会社	愛知県	部品卸売業
B工区	3	美光産業株式会社	藤枝市	輸送用機器製造業
	4	山喜本舗有限会社	藤枝市	食料品製造業
	5	ダン化学株式会社	藤枝市	化学肥料製造業
	6	永和工業株式会社	焼津市	輸送用機器製造業